

「みどりと生き物」の学習コンテンツ

想定単元：4年生社会 特色のある地域と人々の暮らし・6年生理科 生き物の暮らしと環境等



見沼たんぼの水辺と自然



動画はこちらから

CLICK

クリックすると
リンクへ飛びます

「見沼たんぼ」とは…

- 見沼たんぼは東京都心から20～30キロ圏に位置し、芝川や見沼代用水が流れる広大な緑豊かな空間で、多様な動植物が生息しています。
- 見沼たんぼは約300年前に見沼代用水と呼ばれる用水路をつくり、利根川から水をひいたことで、豊かになりました。



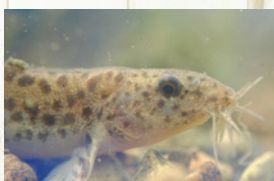
水辺にはどんな植物・生き物が住んでいるか調べてみよう！



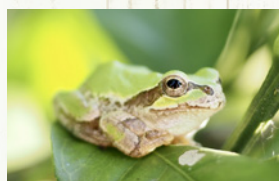
たくさんいたサギがいなくなってしまったのはなぜかな？
また、コウノトリの飛来は何を意味しているのかな？



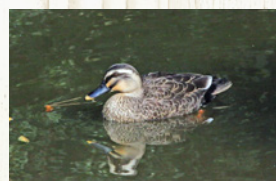
コイ



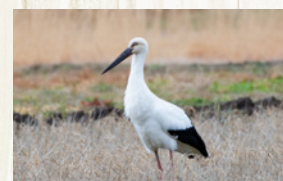
ドジョウ



ニホンアマガエル



カルガモ



コウノトリ

2020年3羽飛来しました

見沼代用水について学ぼう！

いざわ や そべえ
井沢 弥惣兵衛

見沼代用水



見沼たんぼ



見沼通船堀



トラスト保全地

見沼代用水は、今から約300年前、井沢 弥惣兵衛という人が中心となり、大勢の農民たちと協力して短い期間で水路を作り上げました。その水路を用いて見沼ため井を水田化し、「見沼たんぼ」が作られ、たくさんのお米が収穫できるようになりました。

見沼通船堀は、たくさん収穫したお米を江戸へ運ぶ役割を担っていました。また、見沼代用水に接する林は「緑のトラスト保全地」として守り続けられています。

「見沼代用水」
/さいたま市

「見沼たんぼの保全」

NPO 法人水のフォルムは、見沼たんぼでの伝統農法による米づくりに取り組んでいます。



◀NHK for School 検索タイトル
「たんぼの生物と食べ物」
(3～6年総合)

NPO法人水のフォルム
代表 藤原 倭子さん

生き物が住みやすい水辺にするには
どうすればいいか、みんなで考えてみよう！



「見沼たんぼの自然」
/さいたま市

